

政策シート (政策名) 交通安全対策

(予算費目名) 道路企画費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

- ①市民の交通安全意識の向上
- ②幹線道路における交通事故抑止対策
- ③通学路の交通安全対策
- ④生活道路の交通安全対策

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	2,644,015	3,729,395
決算	3,266,736	
人件費(A)	49,000	51,800
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	3,315,736	3,781,195

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
事故危険箇所対策等事故削減対策(51箇所)整備率	%	100	目標	25	40
			実績	25	
道路照明灯LED化更新率	%	100	目標	20	40
			実績	10	
経路案内標識改善(英字表記化率)	%	100	目標	15	35
			実績	30	

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

- ①市民の交通安全意識の向上
- ②幹線道路における交通事故抑止対策
- ③通学路の交通安全対策
- ④生活道路の交通安全対策

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

・幹線道路における交通事故抑止対策は、国道152号下池川町交差点、国道257号連尺交差点の工事に着手。

・道路照明灯LED化更新事業は、国への予算要求額に対し、国の交付金額が半減し、当初の目標値に達することが不可能であったが、交通量の多い幹線道路からの更新が可能であったことから、事故防止の観点で期待ができるものである。

・経路案内標識の改善については、来訪者への対応として、約200枚の改善に着手し、実績を上げることができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	交通安全施設等整備・修繕事業		○	○		3,346,893	3,332,893	2.0				
2	道路照明LED化更新事業		○	○		227,000	220,000	1.0				
3	交通安全推進事業					150,302	126,502	3.0			1.0	
4	外国人観光客誘致事業			○		57,000	50,000	1.0				
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						3,781,195	3,729,395	7.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 交通安全施設等整備・修繕事業

◇事業目的・事業対象

・自動車交通分担率が約67%と突出している本市においては、歩行者(高齢者や子ども、障がいのある人等)及び自転車などの交通弱者の安全対策が重要であり、「人優先」の考えの下に安全で安心な道路交通環境の整備を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.125】

- ・幹線道路等の国交付金を活用した「歩道等の整備」及び「交差点改良」、「平面横断化」の実施
- ・幹線道路等の「事故危険箇所」、「交通事故多発交差点」等における事故削減対策の実施
- ・通学路整備要望(市内小学校・幼稚園)による「通学路」等の安全対策の実施(継続事業)
- ・生活道路等の「ゾーン30指定区域」等における歩行者・自転車対策の実施(継続事業)
- ・歩行者と自転車利用空間を分離する等、相互の安全性向上を目的とした自転車走行空間等整備の実施
- ・各区からの交通安全施設の要望に基づく「道路照明灯」、「道路反射鏡」、「防護柵」、「区画線」、「道路案内標識」等の設置及び修繕の実施
- ・限られた予算の中で地域の実情に即した早期の整備効果を発現させるため、現道幅員等を有効に活用したコスト縮減方策(グリーンベルト等)による歩行空間の確保

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S27	-	一般会計	自治事務(法令義務)	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律・交通安全対策、基本法・社会資本整備重点計画法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	2,317,834	3,332,893
	決算	3,097,904	
	国・県支出	729,455	798,875
	市債	562,700	607,700
	その他		300
	一般財源	1,805,749	1,926,018
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		17,500	14,000
人工	正規	2.5	2.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
国道257号連尺交差点外1箇所平面横断化整備率(%)				-	125
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	50	50	100		100
実績値	50				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
事故危険箇所対策等事故削減対策(51箇所)整備率(%)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	25	40	100		100
実績値	25				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
自転車走行空間等整備率(%)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	30	40	100		100
実績値	30				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目No.125】

・幹線道路等の国交付金を活用した「歩道等の整備」及び「交差点改良」、「平面横断化」の実施
 ・幹線道路等の「事故危険箇所」、「交通事故多発交差点」等における事故削減対策の実施
 ・通学路整備要望(市内小学校・幼稚園)による「通学路」等の安全対策の実施(継続事業)
 ・生活道路等の「ゾーン30指定区域」等における歩行者・自転車対策の実施(継続事業)
 ・歩行者と自転車利用空間を分離する等、相互の安全性向上を目的とした自転車走行空間等整備の実施
 ・各区からの交通安全施設の要望に基づく「道路照明灯」、「道路反射鏡」、「防護柵」、「区画線」、「道路案内標識」等の設置及び修繕の実施
 ・限られた予算の中で地域の実情に即した早期の整備効果を発現させるため、現道幅員等を有効に活用したコスト縮減方策(グリーンベルト等)による歩行空間の確保
 [決算額3,097,904千円(うち前年度繰越814,436千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

・幹線道路における交通事故抑止対策は、国道152号下池川町交差点、国道257号連尺交差点の工事に着手。・経路案内標識の改善については、来訪者への対応として、約200枚の改善に着手し、実績を上げることができた。・通学路の安全対策は、浜松市交通安全プログラムの運用に従い、各小中学校等の要望に基づき、歩道設置や路肩を利用した通学環境の改善等を実施した。生活道路等の「ゾーン30指定区域」等対策については、平成27年度に指定された市内5地区について、対策内容を検討し、より効果的な対策について、国土交通省と連携した新たな取組を実施する。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

交通事故発生状況別に各種事業が展開されており、現状の事業の中で、地域要因等により変化する事故形態に対応し、効果的な対策を実施する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

ビッグデータを有効に活用し、事故発生原因からの対策のみならず、事故を未然に防ぐ対策に重点をおいていく。

・事業の分類

大分類 細分類

補助シート (事業名) 交通安全施設等整備・修繕事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
125	・交差点平面横断化工事(連尺交差点工事着手)	・交差点平面横断化工事(連尺交差点H28.12完成予定)	・交差点平面横断化工事(伝馬町交差点H29以降整備(完了))	

事業シート (事業名) 道路照明LED化更新事業

◇事業目的・事業対象

道路照明灯のLED化により消費電力量の削減に伴うトータルコストの縮減(電球の長寿命化による維持管理コストの縮減)やCO2排出ガス削減等の環境負荷の低減を図ることを目的とする。
また、安全で円滑な道路交通の確保を図るとともに、倒壊防止など防災上の観点から道路施設の適正な維持・更新を推進するため、経年劣化する道路照明灯の計画的な修繕・更新を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.74】

・道路照明灯については、これまで水銀灯や高圧ナトリウム灯設置されていたが、近年の技術開発により消費電力が少なく維持管理コストの縮減や環境負荷の低減にもつながるLED灯に更新する。
・また、老朽化等により劣化が進んだ支柱について、LED化と併せて更新(交換)する。

●LED化更新対象数量

道路照明灯更新対象 12,322基(市内全灯) 総事業費 約2,200,000千円

- ・灯具更新 11,892基(LED化のみ)
- ・支柱更新(予定) 430基(LED化+支柱更新)

事業期間H27~H31(5箇年)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	H31	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	200,000	220,000
	決算		
	国・県支出		110,000
	市債		80,900
	その他		29,100
	一般財源		
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		3,500	7,000
人工	正規	0.5	1.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
道路照明LED化更新率(%)				-	74
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	20	40	80	100	100
実績値	10				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 04 03 01 002314000

(担当課)
道路企画課

(責任者)
長坂 芳達

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目No.74】

・道路照明灯については、これまで水銀灯や高圧ナトリウム灯設置されていたが、近年の技術開発により消費電力が少なく維持管理コストの縮減や環境負荷の低減にもつながるLED灯に更新する。
・また、老朽化等により劣化が進んだ支柱について、LED化と併せて更新(交換)する。

●LED化更新対象数量

道路照明灯更新対象 12,322基(市内全灯) 総事業費 約2,200,000千円

- ・灯具更新 11,826基(LED化のみ)
- ・支柱更新(予定) 430基(LED化+支柱更新)

事業期間H27～H31(5箇年)

・事業の成果と課題

指標の達成度

・道路照明灯LED化更新事業は、国への予算要求額に対し、国の交付金額が半減し、当初の目標値に達することが不可能であったが、交通量の多い幹線道路からの更新が可能であったことから、事故防止の観点で期待ができるものである。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

概ね点検結果に従い、実施の開始ができていますが、LED化が困難な道路照明灯もあり、技術的な実績を積みながら、クリアしていく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

消費エネルギーの省力化の観点では、速やかにLED化したいと考えるが、各年度の必要な予算確保が課題点である。

・事業の分類

大分類

細分類

平成28年度

(管理番号)
03 04 03 01 002314000 02

(担当課)
道路企画課

(責任者)
長坂 芳達

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 道路照明LED化更新事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
74	・LED化更新工事 ・照明灯柱更新	・LED化更新工事 ・照明灯柱更新	・LED化更新工事 ・照明灯柱更新	・LED化更新工事 ・照明灯柱更新

事業シート (事業名) 交通安全推進事業

◇事業目的・事業対象

交通安全に関する知識の普及、交通安全意識の高揚を図るための安全教育並びに交通安全広報活動の実施により交通事故総量の削減を図り、交通事故のない社会を目指す。

◇事業の概要

- 交通事故防止対策会議の活動 = 従来の取組に加え各季交通安全運動、幼児から高齢者までの段階的、体系的な交通安全教育及びシミュレーターや危険予測トレーニングシステムを活用した体験型交通安全教室を推進する。人口10万人あたりの人身交通事故件数ワースト(政令都市中)脱出のため、事故状況分析に基づいた広報啓発活動を実施する。この中で、交通事故件数の大幅な削減を目指し、交通事故ワースト1脱出作戦を展開する。
- 各季の交通安全運動期間 = 毎月10日20日30日には、交通安全啓発広報を実施し交通安全意識の高揚を図る。
- 交通安全指導員設置事業への負担金 = 各警察署に配置される交通安全指導員の設置費を県と市で2分の1ずつ負担
- 交通安全看板、横断旗、のぼり旗、啓発品等の配布
- 自発光式反射材の着用推進
- 平成28年度浜松市交通安全実施計画の作成 = 関係機関とともに平成27年度の浜松市における道路交通の安全に関し、講じようとする施策を表記した交通安全実施計画を作成。
- 第10次浜松市交通安全計画の策定 = 9次計画が終了するため、諸施策を強力に推進するため第10次浜松市安全計画を策定する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S46		一般会計		交通安全対策基本法	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	115,981	126,502
	決算	112,057	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	112,057	126,502
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		17,500	23,800
人工	正規	2.5	3.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
人身交通事故発生件数削減(件)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	8300	6240			8300
実績値	8697				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
事故多発交差点における事故減少率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	30	30			30
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
総合戦略施策体系					
重点戦略項目No					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
総合戦略施策体系					
重点戦略項目No					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 04 03 01 002314901

(担当課)
道路企画課

(責任者)
長坂 芳達

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- 交通事故防止対策会議の活動 = 従来の取組に加え各季交通安全運動、幼児から高齢者までの段階的、体系的な交通安全教育及びシミュレーターや危険予測トレーニングシステムを活用した体験型交通安全教室を推進する。人口10万人あたりの人身交通事故件数ワースト(政令都市中)脱出のため、事故状況分析に基づいた広報啓発活動を実施する。
- 各季の交通安全運動期間 = 毎月10日20日30日には、交通安全啓発広報を実施し交通安全意識の高揚を図る。
- 交通安全指導員設置事業への負担金 = 各警察署に配置される交通安全指導員の設置費を県と市で2分の1ずつ負担
- 交通安全看板、横断旗、のぼり旗、啓発品等の配布
- 自発光式反射材の着用推進
- 平成27年度浜松市交通安全実施計画の作成 = 関係機関とともに平成27年度の浜松市における道路交通の安全に関し、講じようとする施策を表記した交通安全実施計画を作成。
- 第10次浜松市交通安全計画の策定 = 9次計画が終了するため、諸施策を強力に推進するため第10次浜松市安全計画の作成準備を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・広報啓発活動や交通安全教育を中心としたソフト面の創意工夫を図るため、新たに、交通事故防止対策会議の活動において、交通事故ワースト1脱出作戦に着手し、着実に取り組んだことから、交通事故発生件数が減少した。
- ・指標のうち、一部は達成できたが、一部は達成できなかった。
- ・交通事故発生件数について、更なる大幅な削減を目指し、2年目を迎える交通事故ワースト1脱出作戦の取組を加速する必要がある。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・交通事故防止対策会議の活動を充実させるため、幹事を増やした。
- ・市の取組を充実させるため、非常勤職員を新たに配置した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・交通事故防止対策会議において、関係機関、団体等との連携により、交通事故ワースト1脱出作戦の取組を一層強化する。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 外国人観光客誘致事業

◇事業目的・事業対象

観光立国実現のため、国の方針に基づき、訪日外国人旅行者が安心して快適に移動・滞在・観光することができる環境を整備することにより、本市への観光訪問を促進するとともに、顧客満足度を高めリピーターの増加を図る。

◇事業の概要

国土交通省通知の「道路案内標識改善方針(案)」に基づき、外国人旅行者にもわかりやすい道路案内標識とするように、全国統一基準として英語表記の改善を図る。
 ●対象箇所：市内一円の経路案内標識(青板)全体約340箇所
 ●事業期間：H26～H33(8箇年)
 ●総事業費 約400,000千円

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H26年	H33	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法、浜松市道路法等施行条例	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	10,200	50,000
	決算	56,775	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	56,775	50,000
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		10,500	7,000
人工	正規	1.5	1.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
経路案内標識改善(英字表記化率)(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	15	35	75	100	100
実績値	15				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

国土交通省通知の「道路案内標識改善方針(案)」に基づき、外国人旅行者にもわかりやすい道路案内標識とするように、全国統一基準として英語表記の改善を図る。
●対象箇所: 市内一円の経路案内標識(青板)全体約340箇所
●事業期間: H26～H33(8箇年)
●総事業費 約400,000千円
[決算額56,775千円(うち前年度繰越49,075千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

全体数量の内49枚の改善が図られ、概ね計画に従い実施している。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

既設標識板の改善が主であり、課題点は少ない。着実に改善が可能であると考えられる。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

井伊直虎の放送等、奥浜名湖エリアには、来訪者の増が見込まれており、地域や対象路線を絞った改善が必要。

・事業の分類

大分類 ハード整備 細分類 工事・整備(設備)